



ウイングフィールド株式会社

会社案内

世界をつなぐ、ものづくりへの挑戦。

CONNECT THE WORLD



1946年の創業以来、飛行機における
金属部品加工から機体組立、装備品製造まで、
国内航空機業界の主要サプライヤーとして
信頼と実績を築いてきた、ウイングフィールド株式会社。
現在は、新明和グループの一員として
熟練の技能と特殊設備で、多様なニーズに一貫対応。
これからも、世界をつなぐものづくりに挑戦します。

1946年7月
会社設立
板金部品、溶接部品、ダイキャストを製作

1967年6月
航空機部門を新設し、機体部品の加工・組立を開始

1973年6月
L-1011用座席を全日本空輸株式会社に納入

1979年2月
全日本空輸株式会社と
軽量航空機用座席 (TB751型) の共同開発に成功

1983年2月
F-15用イジェクションシート (射出座席) の納入開始

1990年4月
SH-60J用座席の量産開始

1993年4月
B777初号機 機体部品を川崎重工業株式会社、三菱重工業株式会社に納入

1995年10月
OH-1ヘリコプター用防弾・衝撃吸収座席を開発

2006年5月
次期大型機C-X、P-X用座席を川崎重工業株式会社に納入

2008年11月
HONDAJET機体部品をHONDA AIRCRAFT社に納入

2009年10月
10月1日：設立会社から分社し、天龍エアロコンポーネント株式会社を設立
航空機の金属部品、組立、複合材、座席を主要事業とする

2014年8月
B767用ファーストクラス座席を日本航空株式会社に納入

2021年7月
新明和工業株式会社の傘下に入り、
新明和グループとなる

2024年4月
ウイングフィールド株式会社に
社名を変更

新明和グループの理念

社是

進 堅 謙 清
取 実 心 潔

清潔 誠心 堅実 進取

経営理念

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、
安心な社会と快適な暮らしを支え続け、
人々の幸せに貢献します。

ウイングフィールド ならではの強みで目指す オンリーワンサプライヤー



一貫生産で ニーズに対応

ONE STOP

図面・仕様書をいただくことで、材料調達からプランニング、治具制作、部品加工、特殊工程、組立までの一貫生産が可能です。装備品事業は、設計開発から製造販売、そしてアフターサービスまで対応しています。

世界基準の 品質保証

QUALITY

最新の航空宇宙・防衛産業向けの品質マネジメント規格「JIS Q 9100:2016」を取得し、期待と信頼に応え続けられるよう、決められたルールのもと魅力ある製品・サービスを提供し続けます。

特殊設備を 多数保有

EQUIPMENT

全自動化対応した表面処理設備、蛍光浸透探傷装置、熱処理炉、オートクレーブ、オートリベッターなど、航空機部品の生産に必要な特殊設備を多数所有しています。

01 金属部品事業

METAL PARTS

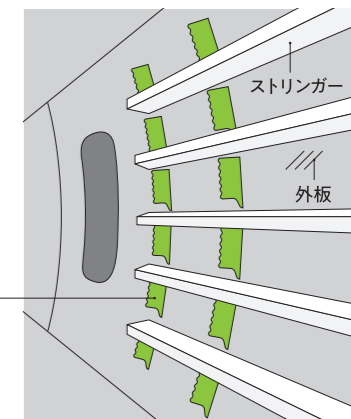


航空機部品製造の一貫生産を可能とする要は、永年にわたり培ってきた高度な板金加工技術です。技能者による丁寧なものづくりが競争力を支えています。近年では、設備の保守・更新に加えて新しい設備の導入も行い、生産性向上に取り組んでいます。人と機械がそれぞれ得意な能力を発揮し、協同作業を行いお客様のニーズに応えたものづくりをしています。

一例 航空機の部品



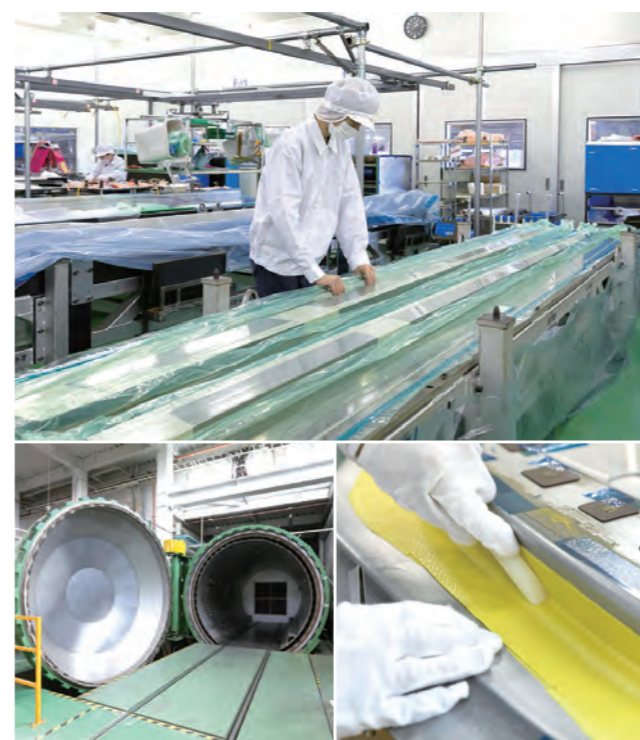
シアタイ
外板とフレームを結合する
Sheartieと呼ばれる構造部品



[主要設備] プレス機/NCルータ/マシニングセンタ/表面処理設備/塗装設備

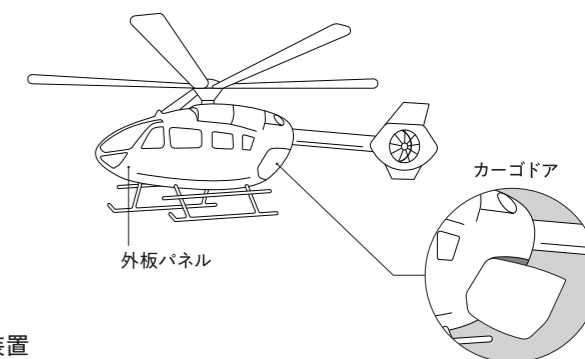
02 複合材部品事業

COMPOSITE



工業製品・航空機から宇宙機器、近年ではドローンや空飛ぶクルマの領域まで、多彩な分野で活用されているのが複合材成型技術です。これまで培った経験や高度な技術と、オートクレーブ、クリーンルーム、自動裁断機、超音波探傷装置といった設備を使用し、高品質な製品を造り出しています。軽量・高剛性の複合材料は燃料消費量の軽減にもつながり、コストの削減やカーボンニュートラル社会の実現にも貢献しています。

一例 ヘリコプターの部品



[主要設備] オートクレーブ/クリーンルーム/自動裁断機/超音波探傷装置

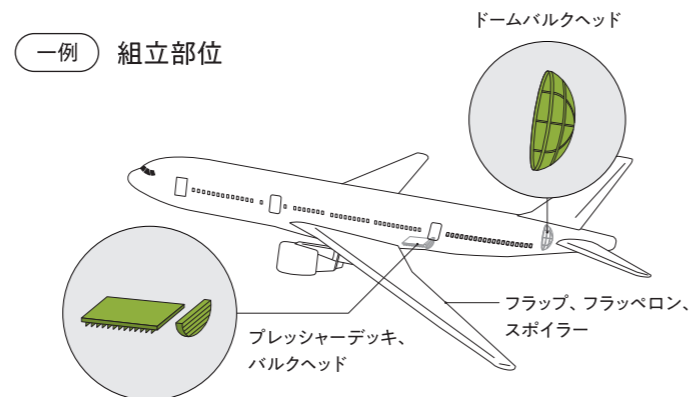
03 構造組立事業

ASSEMBLY



[主要設備] オートリベッター/スクイザー/アングルカッター

多くの人命を預かる航空機は、穴径不良や穴位置ずれなど、わずかでもあってはなりません。高い信頼性が求められる組立作業には極めて熟練した技術力が必要です。構造組立事業では、民間旅客機のフレーム・デッキ・動翼などの組立、防衛省向け航空機においてはパネル・デッキ等の組立も行っています。また、防衛省向け航空機の動翼や座席、レドーム等の修理作業も行っています。



一例 組立部位

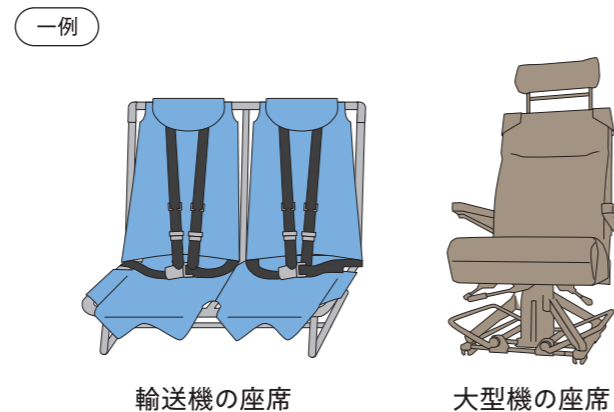
04 装備品事業

ACCESSORIES



[主要設備] 工業用ミシン/ボール盤/CATIA

航空機座席メーカーとしての歴史は古く1967年から、ヘリコプター、民間航空機、防衛省向け航空機の座席の開発・製造を行ってきました。防衛省向けの50Gの衝撃荷重から生命を守る衝撃吸収機能付座席、防弾板を装備した座席などを製作しています。また、防衛省向けの輸送機、哨戒機、救難飛行艇等の座席やヘリコプターの座席を製作し、国内メーカーとしてトップシェアを誇ります。

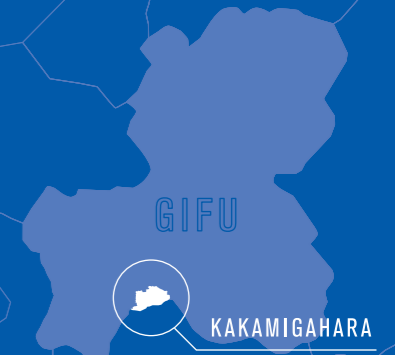


一例

ウイングフィールドの拠点!

“飛行機のまち” 各務原市

岐阜県各務原市は、航空機産業関連の工場が多く集積する“飛行機のまち”。航空機関連の博物館があり、航空イベントにも全国からファンが訪れます。



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
(岐阜県各務原市下切町5丁目1)

岐阜県南部に位置し、市の南部には木曾川が流れる岐阜県各務原市。古くは中山道の宿場町として栄えました。現存する日本最古の飛行場(現・航空自衛隊岐阜基地)を有し、戦前から航空機生産が行われ、現在は日本の航空宇宙技術開発の中心地となっています。市内に日本最大級の航空と宇宙の専門博物館「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」があるほか、毎年秋にはブルーインパルスなどの展示飛行が楽しめる「岐阜基地航空祭」も開催されています。



救難飛行艇US-1A

「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に展示されている救難飛行艇US-1A 78号。飛行艇とは、水上で発着できる航空機で、戦後、海上自衛隊・防衛庁とともにウイングフィールドの親会社である新明和工業株式会社が研究・開発を進めてきました。このUS-1A 78号は、現行機US-2の前身となる飛行艇で海難救助活動で活躍。これまでに1,000名を超える人命を救助しています。ウイングフィールドは、US-1A、US-2といった救難飛行艇の座席や構造部品の製造を担当しています。



岐阜基地航空祭



まちなかには飛行機のモチーフがたくさん!



[会社概要]

社名	ウイングフィールド株式会社
本社所在地	岐阜県各務原市蘇原興亜町1丁目1番地
代表電話番号	058-382-6431
設立	2009年10月1日
資本金	9,500万円
代表者	政井 圭
事業内容	航空機部品の製造及び組立 航空機シートの製造販売